

授業科目

作業療法評価学概論

担当教員名 貝淵 正人	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

リハビリテーションにおける評価の意義を説明し、作業療法において評価は重要であることを理解できます。毎回、講義とバズセッションをおこないます。いくつかの作業療法場面で使用する評価の概要を説明します。

授業の目的

医療における評価の概念や、作業療法に必要な評価の考え方を身につける。また代表的な評価の意味づけを理解し、概説を理解する。

学習目標

- 1：医療における評価の概説を説明することができる。
- 2：作業療法における評価の意味づけを説明することができる。
- 3：作業療法における評価の目的を説明することができる。
- 4：代表的な評価項目を列挙することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	作業療法評価とは	講義	貝淵 正人
2	作業療法の流れ	講義	貝淵 正人
3	作業療法評価の意義と目的	講義	貝淵 正人
4	作業療法評価の基礎	講義	貝淵 正人
5	生活能力の評価	講義	貝淵 正人
6	身体能力の評価	講義	貝淵 正人
7	客観的に捉える指標とは	講義	貝淵 正人
8	全身状態の評価	講義	貝淵 正人
9	評価の記載方法	講義	貝淵 正人
10	身体構造の評価	講義	貝淵 正人
11	精神状態・意識状態	講義	貝淵 正人
12	情報収集の仕方	講義	貝淵 正人
13	評価の記載方法 = ICFの視点から =	講義	貝淵 正人
14	作業療法評価の伝達方法	講義	貝淵 正人
15	まとめ	講義	貝淵 正人

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学第2版	岩崎テル子	医学書院	2011年	5,800円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験結果を100パーセントとする評価とします

履修上の留意点

教科書は1・2章を予習しておいてください

オフィスアワー・連絡先

火・木の14時～17時。
kaifuti@nuhw.ac.jp